

平和を繋いでいくために

豊中市立第十二中学校 3年 泉 小雪

テレビ画面に映ったその光景に衝撃を受けました。助けを求めて空港に押し寄せる人々、飛行機にしがみついた人々、泣き叫ぶ子供たち、そこには自国アフガニスタンから脱出したい人々の現実が映っていました。どうにかできないのか、何かできることはないのか、そう思い調べてみると、アフガニスタン戦争には、現代の思考では解決することのできない歴史的、宗教的背景があり、そんな中で日本はアフガニスタンに約七千億円の支援をしているとわかりました。彼らが生きていくための給水設備、道路建設、職業訓練や学校建設など支援は幅広く、それが私達の税金から賄われていると知って、とても誇らしい気分になりました。それと同時に、平和な日本に生まれて良かったなと思いました。日本は憲法九条により戦争することはありませんが、自衛隊の派遣などを諸外国に要求されたりするそうです。そんな時、日本は支援金を送ったり、食料支援やインフラ整備などの開発支援をしているそうです。私達が当たり前だと思っているこの平和な日常は、税金によって守られているのです。税金は国内だけではなく、海外でも困っている人の役に立ったり、私達の生活の安全にも欠かせないものなのだなと思いました。他にはどんな国に支援しているのか、気になって調べてみました。世界一九六カ国のうち、約七四％が発展途上国という中、日本は一九〇の国と地域に支援しているそうです。日本の援助額は世界一位の時期もありましたが、現在は世界四位となっています。ここまで調べて私は少し心配になりました。日本は災害の多い国。そんな余裕あるのかなと思いました。しかし、これまでの歴史を調べると、終戦直後、日本は、世界の国々から現在の価値で四〇〇〇億円以上の食料や衣類、医薬品、日用品などの物資やユニセフから約一三〇〇億円、ガリオア・エロア資金（米政府による占領地救済政府基金）約一二兆円の援助を受けたと知りました。また、世界銀行から現在の価値で約六兆円借りてダムや新幹線、高速道路など、日本の経済発展に必要な整備がされました。これらの支援のおかげで日本の経済は発展したのです。私達の記憶にもある東日本大震災。日本は一六三の国・地域と四三の機関から寄付金や物資の支援を受けました。私達はこれまで世界に受けた恩を、そのままお返ししているのです。とても素晴らしいことだと思います。また支援することは日本にもメリットがあります。支援国との関係が強化される、日本のイメージアップになる、その国が豊かになると日本の商品を買ってくれるようになるなどで、日本の経済成長につながるのだそうです。この日本のような平和な生活を、困っている国の人々にも繋いでいく。そしていつか世界中の人々が豊かで平和な暮らしをする。私達の税金は、その人類の夢をいつか叶えてくれると思います。